

科目名		中国語 (Chinese)							
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第4学年	経営情報学科	学修	2単位	選択	講義	通年 100分/週	90時間		
担当教員		【非常勤】野村 和代 (【副担当】高橋 正和)							
<b>学習到達目標</b>									
科目の到達目標レベル	ほとんどの学生にとって初めて学ぶ外国語だと思われるので、まず中国語の読みができるようになる事が第一歩。その後、初歩の文法を学び、それをうい簡単な会話ができるようにしていく。 1、ピンインをスムーズに読めるようになること。 2、初級の文法事項を理解すること。 3、聞く力をつけ、簡単な会話が交わせるようになること。 4、言葉の習得を通じて、中国社会やそこで生活する人々に対し理解し、日本や日本人とのものの見方の違いを知ること。								
学習・教育目標	(G)②	JABEE基準1(2)			(f)				
<b>関連科目、教科書および補助教材</b>									
関連科目									
教科書	「チャレンジ!1年生の中国語」 杉野元子 監修・南勇 著 (朝日出版社)								
補助教材等	辞書:「はじめての中国語学習辞典」 相原茂 著 (朝日出版社)								
<b>達成度評価 (%)</b>									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	39	39						22	100
知識の基本的な理解 【知識の基本的な理解】	◎	◎						◎	
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】	○	○						○	
汎用的技能 【 】									
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と創造的思考力 【 】									
<b>学習上の留意点および学習上の助言</b>									
<p>初めて学ぶ言葉なので、最初が肝心である。中国語を読むのに必要な「ピンイン(中国語独自のアルファベット表記)」をマスターするのに、1つ1つの音を学ぶ単純なくり返しを辛抱強く、真剣にやらないとうまくいかない。まず、ここをクリアする事が第一歩なので、自分自身のやる気と根気が必須である。週に一度、授業中にやるだけではマスターできないので、家庭学習も重視していく。授業時にやった内容をすぐに練習する、という形で進め、より多くの問題をこなし、中国語の発想に慣れていく。</p> <p>テキストやプリントなど授業時に必要なものを忘れていたり、中国語以外の事をやっていると減点の対象になるので、集中して授業に臨んで欲しい。</p> <p>到達度評価表の「その他」はテキストの練習問題や配布プリントの提出や出来を指すので、しっかり自分でやる事。最初からしっかり学んでいけば問題ないよう、着実に進めるので、再試はしない。</p>									

授業の明細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	概説	中国語とはどういうものかを理解し、それを学ぶために必要な知識を習得する。	当該箇所の復習
2	発音編Ⅰ	声調と単母音を正しく聞き取り、発音し、書くことが出来る。	当該箇所の発音やピンイン表記が正しく出来る。
3	発音編Ⅱ	単母音と子音正しく聞き取り、発音し、書くことが出来る。	当該箇所の発音やピンイン表記が正しく出来る。
4	発音編Ⅲ	子音を正しく聞き取り、発音し、書くことが出来る。	当該箇所の発音やピンイン表記が正しく出来る。
5	発音編Ⅳ	複母音を正しく聞き取り、発音し、書くことが出来る。	当該箇所の発音やピンイン表記が正しく出来る。
6	発音編Ⅴ	複母音と鼻母音を正しく聞き取り、発音し、書くことが出来る。	当該箇所の発音やピンイン表記が正しく出来る。
7	発音編Ⅵ	鼻母音を正しく聞き取り、発音し、書くことが出来る。	当該箇所の発音やピンイン表記が正しく出来る。
8	中間試験	中間まとめとして試験を行う。	これまでの内容の総復習を行い、試験に備える。
9	試験返却と解答解説/発音編Ⅶ	・試験解説により、間違った箇所を理解する。 ・声調の変化と化と轻声を理解する。 ・あいさつ用語と授業用語を覚える。	当該箇所の発音やピンイン表記が正しく出来る。あいさつ用語が正しく書ける。
10	第1課 《ポイント》《本文》《Drill1・2》	・人称代名詞・動詞“是”・「～か」疑問文・省略疑問文・名前の聞き方と言い方を理解する。 ・《本文》を発音し覚えて、《Drill1・2》で内容を定着させる。	当該箇所の復習
11	第2課 《ポイント》《本文》《Drill1・2》	・指示代名詞・動詞述語文・疑問詞疑問文・“的”を理解する。 ・《本文》を発音し覚えて、《Drill1・2》で内容を定着させる。	当該箇所の復習
12	第3課 《ポイント》《本文》《Drill1・2》	・形容詞述語文・所有を表す動詞“有”・助動詞“想”と“要”・動詞の重ね型・語気助詞“吧”を理解する。 ・《本文》を発音記憶。《Drill1・2》で定着。	当該箇所の復習
13	第5課(前半)/第4課 《ポイント》	・数詞・量詞・数量をたずねる“几”と“多少” ・場所指示代名詞・存在を表す動詞“有”と“在”・方向と位置を表す方向詞・反復疑問文を覚える。	当該箇所の復習
14	第4課 《本文》《Drill1・2》	ポイントの内容を練習し、《本文》を発音し覚えて、《Drill1・2》で内容を定着させる。	当該箇所の復習
	期末試験	期末試験を行う。	これまでの内容の総復習を行い、試験に備える。
15	試験返却と解答解説/まとめ	試験解説により、間違った箇所を理解する。前期の学習事項のまとめを行う。	

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	第5課(後半) 《ポイント》《本文》《Drill1・2》	・完了を表す“了”・二重目的語をとる動詞を理解する。 ・《本文》を発音し覚えて、《Drill1・2》で内容を定着させる。	当該箇所の復習
17	第6課 《ポイント》《本文》《Drill1・2》	・時間の表現・変化を表す“了”・連動文・選択疑問文・前置詞(1)を理解する。 ・《本文》を発音し覚えて、《Drill1・2》で内容を定着させる。	当該箇所の復習
18	第7課 《ポイント》	・時刻の表現・疑問詞・前置詞(2)・動量補語を理解する。	当該箇所の復習
19	第7課 《本文》《Drill1・2》	・文法練習を行い、《本文》を発音し覚えて、《Drill1・2》で内容を定着させる。	当該箇所の復習
20	第8課 《ポイント》	・人民元の言い方・動詞の連体修飾「～の時…」・前置詞(3)を理解する。	当該箇所の復習
21	第8課 《本文》《Drill1・2》 第9課 《ポイント》	・《本文》を発音し、覚えて、《Drill1・2》で内容を定着させる。 ・可能を表す助動詞・動作の進行表現「動+目」構造の動詞(句)・様態補語を理解する。	当該箇所の復習
22	第9課 《本文》《Drill1・2》	・《本文》を発音し覚え、《Drill1・2》で内容を定着させる。	当該箇所の復習
23	中間試験	・中間まとめとして試験を行う。	これまでの内容の総復習を行い、試験に備える。
24	第10課 《ポイント》	・方向補語・前置詞(4)・時量補語・動詞(句)主語を理解する。	当該箇所の復習
25	第10課 《本文》《Drill1・2》 第11課 《ポイント》	・《本文》を発音し、覚えて、《Drill1・2》で内容を定着させる。 ・比較の表現・近い未来を表す“就要～了”・経験を表す表現“一～就…”を理解する。	当該箇所の復習
26	第11課 《本文》《Drill1・2》	・《本文》を発音し、覚えて、《Drill1・2》で内容を定着させる。	当該箇所の復習
27	第12課 《ポイント》	・結果補語・受身文・疑問詞の非疑問用法・全面否定の表現・前置詞(5)を理解する。	当該箇所の復習
28	第12課 《本文》《Drill1・2》 第13課 《ポイント》	・《本文》を発音し、覚えて、《Drill1・2》で内容を定着させる。 ・可能補語・前置詞(6)・使役構文・処置文・仮定を表す“要是～(就)…”を理解する。	当該箇所の復習
29	第13課 《本文》《Drill1・2》	・《本文》を発音し、覚えて、《Drill1・2》で内容を定着させる。	当該箇所の復習
	期末試験	期末試験を行う。	これまでの内容の総復習を行い、試験に備える。
30	試験返却・まとめ・アンケート	試験解説により、間違った箇所を理解する。後期の学習事項のまとめを行う。	
総学習時間数			90 時間
講義			50 時間
自学自習			40 時間